

やちようかんさつ ようごかいせつ  
◆野鳥観察のための用語解説◆

- 留鳥 同じ地域に一年中生息し、季節による移動をしない鳥。
- 夏鳥 春に東南アジアなどの越冬地から日本へ渡ってきて繁殖し、秋には帰っていく鳥、日本にいる時期は種類によって違うが、おもに3～10月の間。
- 冬鳥 秋にシベリア・アラスカなどの繁殖地から日本へ渡ってきて越冬し、春には帰っていく鳥。日本にいる時期は種類によって違うが、おもに9月～翌年5月の間。
- 旅鳥 渡りの途中に日本に立ち寄る鳥。おもに日本より南の越冬地と、日本より北の繁殖地の間を移動する鳥で、春(4～6月)は北上し、秋(8～10月)は南下していく。
- 夏羽 おもに春から夏の羽で、繁殖羽ともいう。多くの種類のオスはメスよりあざやかになる。
- 冬羽 おもに秋から冬の羽。繁殖が終わると羽が少ずつ抜け、夏羽から冬羽になる。
- 外敵 外からせめてくる敵。例えば巣やヒナに近づくへビやイタチ、人など。
- 採食 食べ物をとって食べること。
- 生息 すんで生活すること。
- 停空飛行 翼をこきざみに羽ばたいて、空中の何か所にとどまる飛び方。
- 滑空 羽ばたかずに、翼を広げてすべるように飛ぶこと。
- さえずり 繁殖期にオスがメスに求愛するときや、縄張りを宣言するときの鳴き声。
- 地鳴き さえずり以外のふだんの鳴き声で、警戒の声を含むこともある。
- 聞きなし さえずりを人間の言葉に置きかえて表現したもの。